

一面の緑とおいしい空気に感動 とても楽しかった農業体験



長田来夢さん
(緑が丘中3年)

平泉での農業体験は初めての事ばかりで新鮮でした。畑での仕事は、トウモロコシや豆の苗植えの作業をさせていただきました。農家の方たちが優しく教えてくださったので楽しく作業することができました。夕飯でいただいたおもちも、とてもおいしかったです。平泉では普段できない体験ができ、とても良かったです。たくさんの自然に触れることができた楽しい3日間でした。



藤井雄也さん
(緑が丘中3年)

僕は今回初めて農業に携わりました。一番印象に残っているのは田植えです。田植えは足が疲れて大変でした。草むしりもしましたが、筋肉痛になってとても疲れました。このような農業体験を通して感じたことは、作物を作るとはとても大変だということです。それと同時に大きなやりがいを感じました。そして、農家の方への感謝の気持ちを忘れてはいけなさと実感しました。



井上優香さん
(緑が丘中3年)

私が農業体験で学んだことは、食べ物が私たちの所に来るまでには、たくさんの人の苦労がかかっていたということです。実際に苗植えをしてみて、改めて農家の皆さんの苦労やありがたみが伝わりました。これからはお米の一粒一粒を大切に食べていきたいと思えます。農家の皆さん、本当にありがとうございました。



大橋亮河さん
(緑が丘中3年)

楽しみだった農業体験は農家の方が優しく丁寧に教えてくださり自分がする仕事がよく分かり楽しく行えました。また、私たちが普段食べている野菜や果物がどれほどの苦労を経てできるのかが分かりました。そして、食べ物を食べる時は作ってくれた農家の方や自分の命と引き換えに私たちにエネルギーをくれる食べ物への感謝の気持ちを忘れてはならないと感じました。



作業の合間にパチリ!(斎藤修子さん宅宿泊生徒)



「そうそう、その調子」くわの使い方を熱心に学んだ(小笠寺金市さん宅宿泊生徒)



▶元気に育つんだよ。豆の種まき作業に精を出した(今野昭五さん宅宿泊生徒)

修学旅行で農業体験を「ひらみずみ型農業実践協議会(丸山安四会長)では事業の一環として、農業体験学習の受け入れを行っています。今年は5月30日に神奈川県相模原市立緑が丘中学校の3年生132人が来町。36戸の農家に分かれて民泊し、田植え作業や牛の世話、畑作業などを体験しました。今月号では、受け入れてくださった農家の方々と、生徒たちの感想を紹介します。



上 色の違う稲を植えて絵や文字を浮かび上がらせる「ライス・アート in ひらみずみ」(農事組合法人アグリ平泉主催)の田植えが5月30日、高館橋東側のほ場約1.2㍓で開催。町民とともに緑が丘中の生徒115人が参加し、加工米「どんびしゃり」と古代米「紫稲」の苗を植え分けた/右緑地を背景にくっきりと浮かび上がった「平泉」の文字とロゴマーク=6月下旬



斎藤修子さん
(8区)

わが家では今回、4人の男子を受け入れました。初日は雨模様で、作業ができるかどうかと心配しましたが、少し待つと雨が上がってくれたので、早速畑でナスの苗植え作業を体験してもらいました。260本ほどあった苗があつという間に植えられ、子どもたちの手際よさに感心させられました。夕食では、恒例の手作りギョーザをメインにしました。自分で作ったおいしさからか、焼きギョーザ、水ギョーザ合わせて1人30個以上ずつ食べ「おなかいっぱい!」と満足した様子。私もうれしかったです。2日目はナスの苗植え作業の続きを行った後、朝食のもちを食べ、北上川の眺めを一緒に楽しみました。4人は礼儀正しくみんないい子で、私も楽しく接することができました。今回の体験が、いい思い出として子どもたちの記憶に残ってくれればうれしいです。



今野昭五さん
(16区)

農業体験学習の受け入れは3回目、今回初めて男子を4人受け入れました。1日目は最初に、高館橋東側のほ場で行われたライスアートに参加してもらいました。子どもたちははだしになり大喜びで田植えに取り組んでいました。自宅に着いてからは、タケノコ掘りや犬の散歩で大はしゃぎをしていました。カエルやアカハライモリを見つけて喜んでいたのでほほ笑ましかったです。夕食では八斗作り体験とパーベキューをして楽しみ、2日目の朝食ではもちと一緒に食べてみました。おいしいと言いながらたくさん食べてくれてうれしかったです。朝食後は畑で豆の種まきしてもらい、近くの貯水池を散歩した後、木工芸館からの一帯の眺めを楽しみました。自然と生き物に触れたこの2日間が、子どもたちにとって一つのいい思い出になってくれればうれしいです。